

はたっこ

本年度も東畑中学校区は「主体的に学び、論理的に思考できる児童生徒」の育成をめざして、さまざまな取組を行いたいと思っています。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で限られた範囲での活動になっていますが、1学期に行っていたいくつかの取組を紹介します。

乗り入れ授業1 ～中学校って、どんなところ?～



7月16日(金)に、東畑中学校の藤原校長が明立小学校と原小学校に出向き、6年生を対象に授業を行いました。

昨年度年度から始めた取組ですが、現在の中学1年生は「話を聞いて、ちょっと楽しみになった。」「中学校のことを何も知らないで行くより、いろいろ知ることができ、校長先生や桑田先生など、少し知っていたから不安が少なくなった。」「知らなかったら、緊張してびくびくだったと思う。」「先生方に会うことで、中学校で0から始めなくても良かった。だいたいの内容も教えてくださったので、そこから自分の力で頑張っていこうと思えた。」と話しており、小学校から中学校へのスムーズな入学の助けになったと考えます。学期に1回ずつ、計3回、中学校から小学校に出向き、学習面や生活面での違いや身に付けてほしい力・心構えなどを話していきます。

また、昨年度と同様に東畑中学校の音楽科の松原教諭が明立小学校でも音楽の授業を行っています。4年生・5年生・6年生の授業を受け持ち、毎週火曜日と水曜日に勤務しています。

明立小6-1



明立小6-2



原小6-1



明立小4年生音楽の授業



6年生の感想より

- ★たまに、しないといけないことを後回しにしていたので、自分のなまけ心に勝てるようがんばりたいです。
- ★6年間私たちを支えて下さった先生やクラスの全員に感謝して、これまでの学校生活をふりかえろうと思いました。そして、委員会やクラブなど、6年生として最後までやりきろうと決意しました。

校区での研究授業1～明立編～

東畑中学校校区では、年に3回、研究授業を合同で行っています。1学期は明立小学校の4年生の社会の授業を各校の代表が参観しました。2学期には原小学校と東畑中学校で授業を行う予定です。

コロナウィルス感染症対策のため、なかなか全教職員での研修はできませんが、校区の児童生徒を同じ視点で見つめ、よりよい授業となるよう研修を積み重ねていきます。



はたっこ Life 好きの週間



6月21日(月)～25日(金)までの1週間を「はたっこ Life 好きの週間」として「起床時間・朝食・就寝時間・メディア視聴」の項目について3校合同の取組を行いました。実施後、「**3色ぞろった朝食をとり、メディアから離れて早寝することで、朝すっきり目覚め、勉強の内容もよく入ってくるようになった。**」と述べた中学生がいました。

生活習慣は、健康だけではなく学力向上にも関係があります。良い生活習慣を引き続き意識できるといいですね。



挨拶運動中の明立小児童

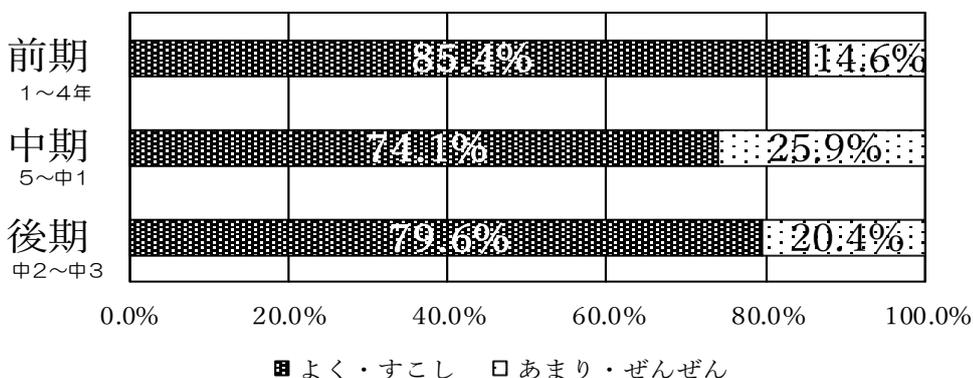


放送で呼びかけ中の原小児童



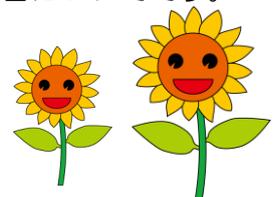
挨拶運動中の生徒会執行委員

自分にはよいところがある



また、7月には「自己有用感」に関する調査も行いました。

「自分にはよいところがある」「自分のよさは認められている」という2項目についてです。



どの時期も前年同月に行った調査結果よりも数値は上がっています。今年度は、前年度に比べ学校生活が平常に戻りつつあり、少しずつ活躍の場が広がってきたことが結果に反映したのではないかと考えられます。